



BUSINESS REPORT

第85期(第2四半期)株主通信

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日



CONTENTS

- P 1 トップメッセージ
- P 3 セグメント別データ
- P 4 決算データ
- P 5 製品のご紹介
- P 6 会社概要／株式情報
- 裏表紙 株主優待情報／株主メモ

トップメッセージ



持続的な成長と企業価値の向上をめざし、 ブランド育成・商品開発を推進しました。

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。さて、当社第85期第2四半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の決算を終了いたしましたので、営業の概況につきご報告申し上げます。

取締役社長 山下 裕司

当第2四半期の業績について

売上高	13,421 百万円	(前期比 1.4%減↓)
営業利益	367 百万円	(前期比 27.5%減↓)
経常利益	634 百万円	(前期比 0.8%減↓)
親会社株主に帰属する四半期純利益	509 百万円	(前期比 8.0%増↑)

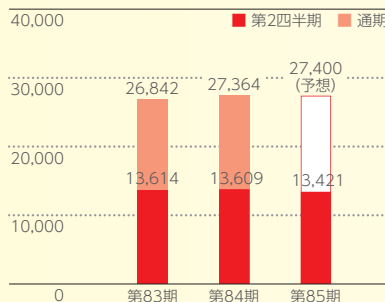
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。景気の先行きについては改善の継続が見込まれる一方、不透明な国際情勢の推移によるわが国経済への影響に留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、

連結財務ハイライト

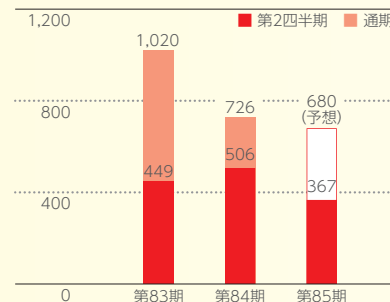
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は13,421百万円（前期比1.4%減）、営業利益は367百万円（同27.5%減）、経常利益は634百万円（同0.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は509百万円（同8.0%増）となりました。

通期の連結業績予想としては、売上高は27,400百万円（前期比0.1%増）、営業利益は680百万円（同6.4%減）、経常利益は1,000百万円（同19.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は780百万円（同42.0%増）を見込んでおります。

中長期的な経営戦略

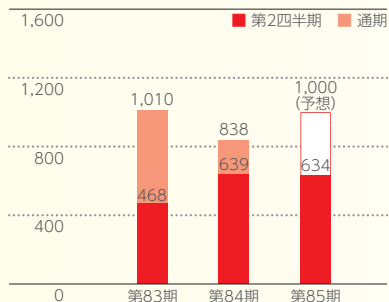
- ① 事業基盤の強化
- ② 新商品開発の推進
- ③ グループ経営資源の積極的な活用による競争力強化

通期の見通し

売上高	27,400百万円	(前期比 0.1%増↑)
営業利益	680百万円	(前期比 6.4%減↓)
経常利益	1,000百万円	(前期比 19.3%増↑)
親会社株主に帰属する当期純利益	780百万円	(前期比 42.0%増↑)

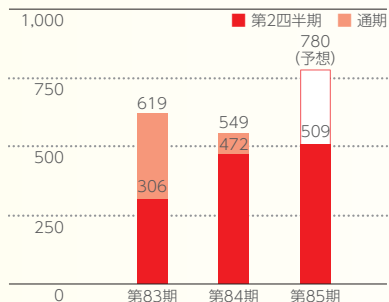
経常利益

(単位:百万円)



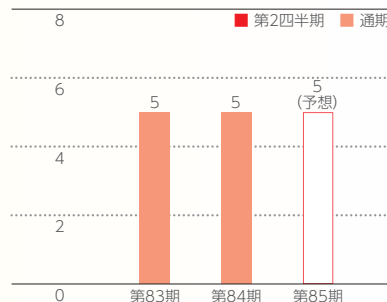
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

(単位:百万円)



配当金の推移

(単位:円)



セグメント別データ

SEGMENT INFORMATION

砂糖事業



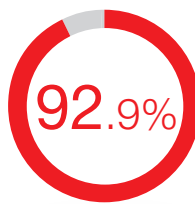
売上高

12,477 百万円
(前期比 1.0%減)

営業利益

781 百万円
(前期比 3.2%減)

売上高構成比



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において16.93セントで始まり、直後に17.18セントの高値を付けたものの、主要生産国ブラジルのサトウキビ増産予測などにより、世界需給の供給余剰見通しが拡大したことから下げ基調が継続し、6月下旬には12.53セントの安値をつけました。その後は、エタノール需要増の観測による上げ基調と砂糖の供給余剰見通しによる下げ基調が交互に推移し、13.54セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初195～196円で始まりましたが、粗糖先物相場の下落を受けて7月中旬に189円～190円に値を下げ、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、顧客満足度を第一義とした取引先との信頼営業強化に努めました結果、業務用製品は堅調に推移したものの家庭用製品が伸び悩んだことから、売上高はほぼ前年並みとなりました。

バイオ事業



売上高

919 百万円
(前期比 6.5%減)

営業利益

133 百万円
(前期比 40.0%減)

売上高構成比



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



オリゴ糖事業は、腸内環境改善効果を始めとする「オリゴのおかげ」ブランドへの高い評価に基づく拡販をより着実なものとするため、主要量販店等への販売促進活動の強化に加え、イベントへの協賛及び広告他各種メディアを通じた一般消費者への訴求に努めました。販売数量及び売上高とも前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めました結果、売上高はほぼ前年並みとなりました。

その他の事業

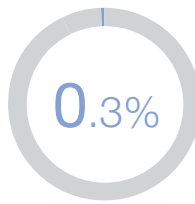
売上高

65 百万円
(前期比 0.7%増)

営業利益

32 百万円
(前期比 11.5%増)

売上高構成比



売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)

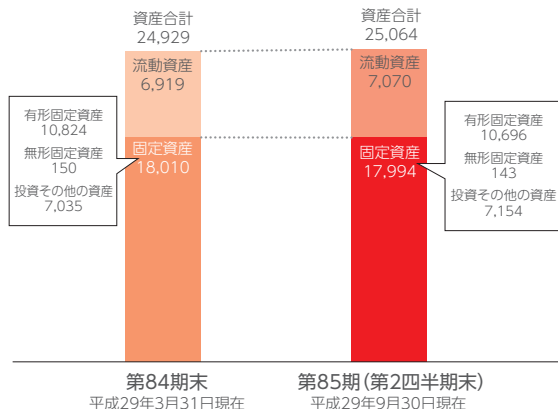


その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

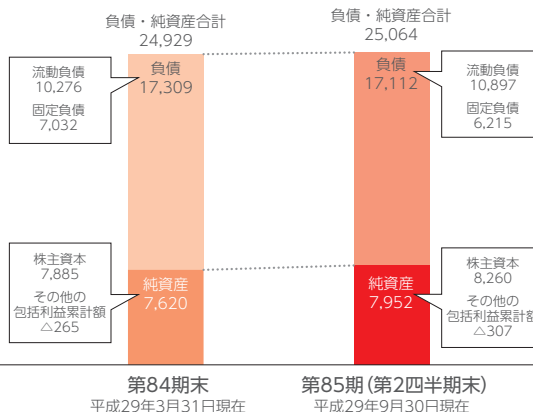
連結貸借対照表

(単位：百万円)

● 資産の部

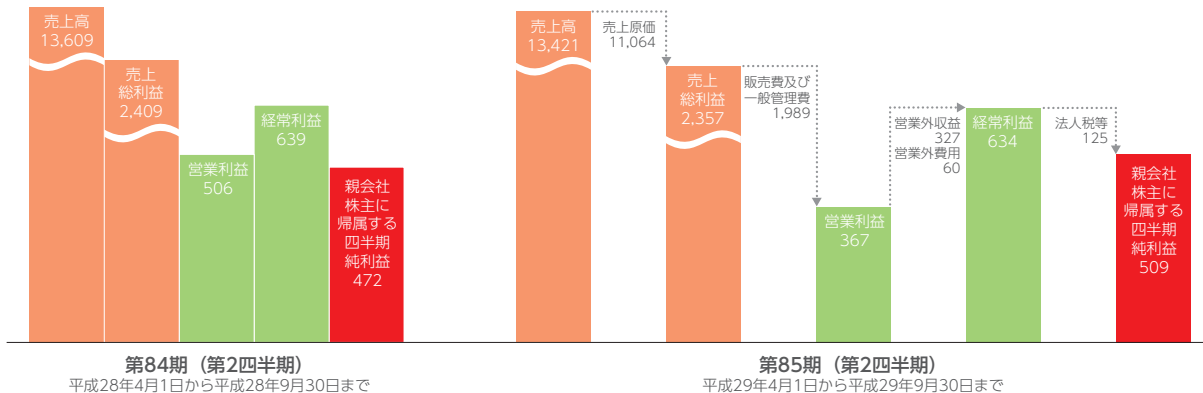


● 負債・純資産の部



連結損益計算書

(単位：百万円)



オリゴのおかげ

おなかの調子を整える甘味料

主成分の「乳糖果糖オリゴ糖」は、自分自身の腸内に棲む善玉菌の代表格“ビフィズス菌”をはじめとした有用菌を増殖させたり、有害な細菌の増殖を抑制することで、有益な効果をもたらす難消化性成分を含んだ“プレバイオティクス食品”です。

天然素材から生まれた自然な甘さで、カロリーも控えめですので、ダイエット中の方にも安心してお使いいただけます。ダブルサポートシリーズはカルシウム吸収促進効果も認められている「消費者庁許可・特定保健用食品」(通称：トクホ)です。

※プレバイオティクスとは・・・人の腸内に常在する有用菌を増殖させたり、有害な細菌の増殖を抑制することで、有益な効果をもたらす難消化食品成分のことです。

「オリゴのおかげ」
「オリゴのおかげダブルサポート」
商品は全て消費者庁許可・特定保健用食品です。



サトウキビと牛乳からできた天然甘味料だから安心

カロリーはお砂糖の約半分！

ビフィズス菌を増やしておなかもすこやか！

家庭用「オリゴ糖」シェア No.1

毎日続けることがポイント！

コーヒー・紅茶 ヨーグルト お料理全般に！

当社製品の購入方法について

全国の主要食品スーパーマーケット・ドラッグストアをはじめとして公式オンラインショップで購入することも可能です。



パールエースオンラインショップ
<http://www.okage-sama.co.jp/>



会社概要

CORPORATE INFORMATION

(平成29年9月30日現在)

会社概要

- 商号 塩水港精糖株式会社
ENSUIKO SUGAR REFINING CO.,LTD.
- 本社 東京都中央区日本橋堀留町二丁目9番6号
03-3249-2381(代)
- 創立 明治37年2月
- 設立 昭和25年7月
- 資本金 17億5,000万円
- 事業所 糖質研究所
関西営業所
工場 / 横浜共同生産工場(太平洋製糖株)
大阪共同生産工場(関西製糖株)
- 関係会社 (株)パールエース、(株)おかげさま、太平洋製糖(株)、
関西製糖(株)、南西糖業(株)、(株)ナルミヤ
- 株式市場 東京証券取引所市場1部
- 主要商品 精製糖(グラニュー糖、上白糖、三温糖、液糖他)
乳糖果糖オリゴ糖
(オリゴのおかげ、オリゴのおかげダブルサポート)
サイクロデキストリン
(デキシーパール、イソエリート、デキシーエース
他)
サラシア属植物エキス末

取締役及び監査役

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 代表取締役会長 | 久野 修慈 | 取締役 | 小田 俊一 |
| 代表取締役社長 | 山下 裕司 | 取締役 | 瀧 邦久 |
| 取締役副社長 | 神崎 俊 | 取締役 | 木村 成克 |
| 専務取締役 | 尾滝 亨 | 取締役 | 三和 彦幸 |
| 常務取締役 | 丸山 弘行 | 常勤監査役 | 多田 啓一 |
| 常務取締役 | 酒井 英喜 | 常勤監査役 | 青木 義一 |
| 取締役 | 原 浩司 | 監査役 | 金澤 賢一 |
| 取締役 | 伊藤 哲也 | 監査役 | 渡部 以光 |

株式情報

STOCK INFORMATION

(平成29年9月30日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 35,000,000株
(自己株式7,890,604株を含む。)
- 当第2四半期末株主数 7,918名

大株主

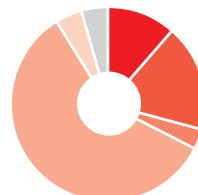
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	3,990	14.72
株式会社みずほ銀行	1,354	5.00
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	713	2.63
三菱UFJ信託銀行株式会社	603	2.22
CREDIT SUISSE (LUXEMBOURG) S.A. / CUSTOMER ASSETS, FUNDS UCITS	600	2.21
株式会社榎本武平商店	550	2.03
大東通商株式会社	500	1.84
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	496	1.83
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	453	1.67
東京海上日動火災保険株式会社	340	1.25

(注) 持株比率は自己株式(7,890,604株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別株主分布状況



株主優待 情報

決算期末（3月31日）現在の株主の方に対し、年1回当社製品を以下の基準により送付いたします。

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有されている株主様。

送付時期

毎年7月上旬に送付を予定しております。

送付先

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された住所に送付しております。

ご優待の内容

1,000株以上当社株式を保有されている株主様に対して、当社製品「オリゴのおかげ」6本セット（3,000円相当）を贈呈いたします。



WEBサイトのご案内

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。



<http://www.ensuiko.co.jp/>

塩水港

検索

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 利益配当金の株主確定日 毎年3月31日および中間配当の支払いを行うときは9月30日
- 基準日 定時株主総会については3月31日
上記の他必要がある場合は予め公告して臨時に基準日を設けることがあります。
- 定時株主総会 毎年6月
- 公告・IR情報掲載URL <http://www.ensuiko.co.jp/>
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所等

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話でのお問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受け取り方法の変更等)	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買は出来ません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。